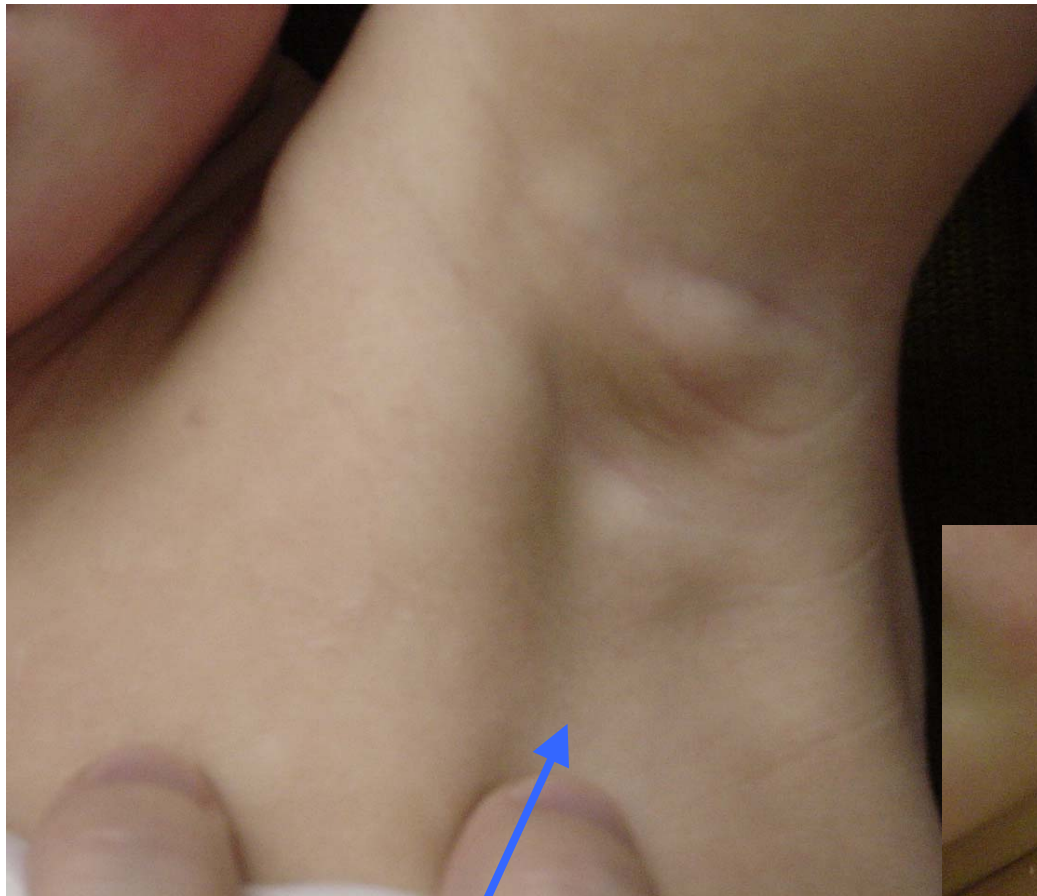


BCGの副反応

リンパ節腫脹
(BCG接種後1か月)

- 腋窩リンパ節腫脹
- 頻度: 0.5-1%
- ほとんどは治療不要



約1か月後、腋窩リンパ節は縮小したが、鎖骨上のリンパ節は自潰した。現在RFP軟膏で治療中。

- 2006年9月26日(生後5か月)に、近医でBCG接種
- 同年、11月5日に左腋窩のリンパ節腫脹に気づかれ小児科受診、BCGの副反応の疑いにて11月14日(生後6か月)久留米大学小児科へ紹介
- 左腋窩に4x2 cmのやや硬いリンパ節を触知、排膿などなく経過観察とされる
- 2007年3月4日(生後10か月)、リンパ節部の自潰、排膿を認め、当科再来
- RFP軟膏塗布にて治療を開始
- 同年、4月9日、予防接種後副反応報告書提出



2007年3月12日



BCGの副反応



BCG接種部の
ケロイド形成



皮膚結核様病変
腺病性苔癬

BCGの副反応

9歳男児 (#475612-4)
2年前にBCG接種後の
肥厚性瘢痕



予防接種後副反応集計報告書による BCG 副反応報告の状況

	総 数		0 歳	1 歳	2 歳	3 歳	4 歳	5～9 歳	10～15 歳
総 数	602	35.8*	297	132	21	2	2	76	72
1 腋窩リンパ節腫脹 (1 cm 以上)	344	20.5*	224	95	11	1		11	2
2 接種局所の潰瘍	79	4.7*	22	11	1			32	13
3 骨炎, 骨髄炎	5	0.3*		2	3				
4 皮膚結核様病変	13	0.7*	8	2	1			2	
5 全身性播種性 BCG 感染症	3	0.2*	1		1			1	
6 その他の異常反応	121	7.2*	28	19	1	1		24	48
6A 腋窩以外のリンパ節腫脹	36	2.1*	16	19	1				
6B 急性の局所反応	19	1.1*	5					10	4
6C その他	66	3.9*	7			1		14	44
7 基準外報告	37	2.2*	14	3	3		2	6	9
7A 局所反応 (基準以外の反応)	13	0.8*	1		1		1	3	7
7B 全身反応 (発熱など)	20	1.2*	9	3	2		1	3	2
7C その他	4	0.2*	4						

(平成 6 年 10 月 1 日～平成 14 年 3 月 31 日, *は被接種者 100 万人対率の推定)

2: 遷延性の潰瘍. 6A: 腋窩リンパ節腫脹とともにときに化膿性リンパ節炎となることがある.

6B: 多くが再接種における「コッホ現象」である. 6C: ケロイド形成が大半である.